

# 国語科学習指導案

単元名 **ポップをつくってしょうかいしよう「大造じいさんとがん」**

学年 第5学年1組 男子5名 女子1名 計6名

指導者 呉市立昭和東小学校 田中 いづみ

## 1 単元について

### 単元について

本単元は、小学校学習指導要領の第5学年及び第6学年「C読むこと」の指導事項エ「登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。」カ「目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと」を受けて設定した。

教材文「大造じいさんとがん」は、場面構成が分かりやすく、会話文や地の文の中で大造じいさんの気持ちを表現したり、情景描写を通して、大造じいさんの気持ちを暗示したりしている。このような作者の表現の工夫は、中心人物の心情の変化や内面にある深い心情を、想像を広げながら読み取ることに適している。

単元を貫く言語活動として、同じテーマや作者の本を読み広げ、ポップを作って紹介する活動を設定した。こうした学習を通して、優れた叙述に気付き想像豊かに読む力を高めたい。

### 児童の実態

本学級の児童は、昨年度のCRTテストや、本年度の「基礎・基本」定着状況調査の結果から、文学的文章において、場面の様子や登場人物の性格や気持ちについて、叙述を基に想像して読むことが十分でなく、国語に対して苦手意識をもっていることがわかった。

そこで1学期には、まず、国語が好きになるように、児童が書いた文章を認めながら、「なぜそう思ったの。」「もし反対だったら・・・」など、「もし」「なぜ」「どうして」をキーワードにして、考えを深めていくようにした。

「世界で一番やかましい音」の学習では、単元を貫く言語活動として、新聞づくりに意欲的に取り組むことができた。教材文を何度も読んで、物語の展開に即して人物相互の関係や心情の変化のおもしろさを読み取ることができた。

しかし想像を豊かに人物の気持ちを読み取っていく力は、まだ十分ではない。

### 指導にあたって

指導にあたっては、まず、並行読書で、動物と人間とのかかわりをえがいた本を読んで、東小のみんなに「ポップをつくってしょうかいする」という言語活動をゴールとして設定する。相手意識・目的意識をはっきりさせることで、児童の興味関心を高めたい。教材文では、優れた叙述について読み取ったことをもとに、自分の考えをまとめるようにする。教材文で読み取ったことをポップにまとめることで、ポップの作り方の基本がわかる。ポップのタイトルや紹介文を考えさせることは、登場人物の相互関係や心情、情景などを通して表現されていることを想像を広げながら読み深め、自分の考えをまとめることにつながっていく。東小のみんなに紹介したい本を選んでポップをつくることで、実生活の中で読書活動を充実させることができると考える。

### 小中一貫教育で大切にしていること

昭和中学校区では、「基礎・基本」定着状況調査において、「読む」に課題が見られた。文学的文章では、「場面の展開にそって気持ちを読み取る力」の向上が必要となってくる。そのために、中期では、「内容を的確に捉え考えを広げながら読むこと」ができるようになるために、教材文だけではなく、並行読書や新聞記事を読むことなどいろいろな文章にふれる機会を多くとることで、後期の、「文章の展開や表現の仕方を評価しながら自分の意見を持ちながら読むこと」につなげていく。また、9年間を見通して付けたい力に応じた言語活動を充実させ、読む力を付けていくようにする。

## 2 単元の目標

《国語への関心・意欲・態度》

- 動物と人間のかかわりをえがいた物語に関心をもち、意欲的に教材文や選んだ本を読もうとしている。

《読むこと》

- 登場人物の相互関係や心情の変化、情景描写など想像を広げながら読み取り、自分の考えをまとめることができる。

動物と人間とのかかわりをえがいた物語を読み、読書の範囲を広げている。

《伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項》

- 語感、言葉の使い方に対する感覚などについて、関心をもつことができる。

## 3 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言葉についての 知識・理解・技能
【単元を貫く言語活動】	「ポップをつくってしょうかいしよう」 「本を読んで推薦の文章を書く言語活動」を通した指導 エ	
○ 本を紹介するためのポップづくりに関心をもち、意欲的に教材文や動物と人間とのかかわりをえがいた物語を読もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>がんの頭領残雪に対する大造じいさんの心情の変化を、心情をあらわす情景描写とともに想像を広げながら読み取り、優れた叙述に対して自分の考えをまとめている。エ</b></li> <li>○ <b>同じテーマや同じ作者の本を読み、読書の範囲を広げている。カ</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 登場人物の心情を暗示するような優れた表現に関心をもって文章を読んでいる。  イ (カ)</li> </ul>

## 4 設定した言語活動を通して付けたい力

ポップをつくって紹介するために、登場人物の相互関係や心情の変化や場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめ、想像豊かに本や文章を読むことができる。

## 5 指導と評価の計画 (全8時間)

次	時	学習活動	評 価				
			関	読	言	評価規準	評価方法
一	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教材のねらいを確かめ、学習の見通しをもつ。</li> <li>・ 教材文を読んで、全体の内容をつかみ、感想を交流する。</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本を紹介するためのポップづくりに関心をもち、興味をもって物語を読もうとしている。</li> </ul>	音読 ノート 発言
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一の場面を読んで、つりばりの計略について読み取り、ポップに書く。</li> </ul>		◎		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一つ目の計略について大造じいさんの言葉や行動、情景描写をもとに想像を広げながら読み取っている。</li> </ul>	ノート 発言 ポップカード

	3	・ 二の場面を読んで、たにし <small>の</small> 計略について読み取り、ポップに書く。		◎	・ 一の場面での大造じいさんの気持ちと比較させながら、大造じいさんの残雪に対する気持ちの変化を叙述に即して想像を広げながら読み取っている。	ノート 発言 ポップカード
二	4 (本時)	・ 大造じいさんの残雪に対する気持ちの変化を読み取り、ポップに書く。		◎	・ 大造じいさんの心はどこで変わったのか、なぜ変わったのかを叙述に即して想像を広げながら読み取っている。	ノート 発言 ポップカード
	5	・ 大造じいさんが残雪を見送る場面を読み、主題について考え、大造じいさんとがんを紹介するポップを完成させる。		◎	・ 大造じいさんと残雪の関係を想像させ、その関係に対する自分の考えをもつことができる。	ノート 発言 ポップカード
三	6 7	・ 動物と人間とのかかわりをえがいた物語を選んで、ポップをつくる。		◎	・ 教材文を通して学習した読み方を使って、自分が選んだ本を紹介するポップをつくる。	ポップカード
	8	・ 自分が選んだ動物と人間とのかかわりをえがいた物語を紹介し、友だちが工夫しているところを見つけ、伝え合う。		◎	・ 本を読んで感じたことをポップを通して伝え合い、表現の工夫に着目して互いの感想を伝え合っている。	ポップカード 発言

## 6 本時の目標

- 残雪の行動とそれに対する大造じいさんの言動から、大造じいさんの心情の変化を叙述に即して読み取り、自分の考えを持つことができる。

## 7 学習の流れ

	学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した 児童への指導の手立て)	評価規準〔観点〕 (評価方法)
導 入  展 開	1 前時の学習内容と本時のめあてを確認する。 ・	◇ これまでの学習で、残雪に対する大造じいさんの気持ちをおさえる。 ◇ 「さあ、今日こそあの残雪めに・・・」 「強く心を打たれて・・・」の2文を比較し、大造じいさんの心が大きく変わったことに気づかせる。  <b>大造じいさんの心は、どうして変わったのか考え、ポップにまとめよう</b>	
	2 第三場面を音読する。	◇ 大造じいさんや残雪の行動や心情がわかる場所に線を引きながら読ませる。	

	◇ 大造じいさんの心を動かした要因は残雪の行動や様子にあること気づかせる。		
	<p>4 大造じいさんの心情を変えた残雪の行動や様子について探し、大造じいさんの心はどうして変わったのか自分の考えを持つ。</p> <p>5 大造じいさんの心はどうして変わったのか残雪の行動や様子から話し合う。</p>	<p>◇ 大造じいさんの心を動かした残雪の行動や様子から、どうしてそう思ったのかノートにまとめさせる。</p> <p>◆ 残雪の行動が表れているところを書いたヒントカードを用意し、必要に応じて渡すようにする。教科書に線を引かせる。(ヒントカード・ノート)</p> <p>◆ 全員が話し合いに参加できるように、ノートに赤線を引き、自信を持って発表できるようにする。</p>	
まとめ	6 本時の学習内容についてまとめる。	◇ 残雪のとした行動から、大造じいさんの気持ちがどうして変わったのか考えることができたことを確認し、ポップカードに書かせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>大造じいさんの心はどうして変わったのか、残雪の行動や様子から想像を広げながら読み取っている。〔読む能力〕(ノート)</li> </ul>
	7 本時を振り返り、次時につなげる。	◇ ノートに今日の学習で分かったことなどの振り返りを書く。次時の予告をする。	

児童のまとめ例

- 大造じいさんの気持ちが大きく変わったのは、自分の仲間を救うために命を賭けて戦った残雪の姿に感動したからです。

8 板書計画

⑤ 大造じいさんの気持ちが大きく変わったのは、自分の仲間を救うために命を賭けて戦った残雪の姿に感動したからです。

⑥ ポップをつくってしようかいしよう  
大造じいさんとがん 椋 鳩十

「さあ、今日こそ、あの残雪めにひとあわふかせてやるぞ。」  
(りこうなやつ・たかが鳥・残雪め)

大造じいさんの心はどうして変わったのか考え、ポップにまとめよう

残雪の行動

残雪の目には、人間もはやぶさもない

ただ救わねばならぬ仲間のすかたがあるだけ

じいさんを正面からにらみつけた。

頭領らしい堂々たる態度

じたばたしない

強く心を打たれて、ただの鳥に対してしているような気がしませんでした。」

(頭領)

大造じいさんの心はどうして変わったのだろうか。

おとりのがんを助けたから。

じたばたさわがなかったから。

第二の敵が現れても頭領として堂々としていたから。

大造じいさんがねらっていることがわかっていただけ、ただ、仲間を救うことだけを考えて、敵にぶつかっている姿に感動したから。

大造じいさんの心は、ぐっと、かたにじゆうを当てて、残雪をねらいました。が、何と思ったか、また、じゆうをおろしてしまいました。

大造じいさんがかけつけました。

大造じいさんが手をのばしても・・・